

1. 大陸旧帝国と近代植民地帝国の違い

- 時間的、空間的
- 本国に連続する一個の政体の構成員としての参加権が問題になる／否
- 相違と統合を調和させる試み

2. フランスにとっての第一次世界大戦と植民地

- 帝国の総力戦
- 植民地からの人的・物的動員
- 異なる帝国・地域間の共振
- 協力を得る、抵抗・動揺を抑えるため、現地「伝統」の尊重
- 民族学・歴史学の成果と呼応
- 総力戦のデモクラティックな性格
- 国民としての認知(=市民権付与)とは切り離す

3. 民族横断的な広域秩序の模索

- 第二次世界大戦後、海外領土(←植民地)が本国と同等、海外住民は本土と同じ市民権を持つような政体～ある種の連邦制の模索
≠ ネイション-ステイト
- 帝国を維持するためにホーム・フロントの外から内への認知の必要
- フランス連合(1946)、共同体(1958)
- ローマ、ソ連の参照